

「ドンドン語ろう！ in 河内」 (平成30年2月15日 河内まちづくりセンター) 開催 ご意見用紙提出分 参加者：106名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	(1) シティFMが入らない地区がある。入るようにしてほしい。	熊本シティエフエムは地域密着型のコミュニティ放送であり、電波の出力制限があることから受信可能範囲が限られており、ご指摘のとおり、一部の地域で受信しづらい場所がある。 そこで現在は、ご家庭のパソコンや携帯電話で聞くことができるよう、インターネットラジオでも放送している。	政策局	広報課
2	(1) 道路について 西区河内町野出に河内グラウンドがあり、土日祭日には子ども達のサッカーおよび野球の試合や練習等が行われる。子ども達の送迎には、河内町岳の追分から野出部落へ通じる狭くてカーブの多い道路が使用されている。他の農道等を利用すると遠くへ迂回しなくてはならない状況で、ほとんどがカーブの多い見通しの悪い狭い道路を通っているのが現状である。 われわれ地元の者も、この道路を通って岳、峠の茶屋、本妙寺へと抜けている。特に追分～野出間の狭い道路は見通しも悪く、カーブ等で衝突しかねないヒヤリハットが多発している。 芳野地区の高齢化率は約50パーセント近くになっており、仕事や買い物など車がなくては生活できない。また、高齢で運転も危ない状態で運転せざるをえない。公共交通も少なくても近くないので、免許返納もままならない。 そのような中に、道路に慣れていない送迎者（親たち）が運転しているのが、事故等を心配されている。 道路案内も中山間事業で素人の手作りの道案内しかなく、非常にわかりにくいと言われている。案内板が不足しているので、河内グラウンドは河内校区の海辺にあると思込まれて間違える方もいる。このような状況から、県道1号から河内グラウンドに通じ離合できるアクセス道路の整備を、ぜひともお願いしたい。	河内グラウンドへのアクセス道路については、ご指摘のとおり曲線部が多く見通しの悪い幅員4.5m程度の道路であり、交通安全上の対策の必要性について認識している。 そのため、今後現地確認を行い、曲線部についての注意喚起や安全施設等（警戒標識・路面表示）の設置、また、部分的に拡幅するため側溝開渠部の蓋がけなど、可能な対策ができないか検討する。 拡幅にあたっては、用地提供等が必要となる場合もあることから、地元自治会や関係地権者の皆様と協議しながら対応する。 また、ご意見を踏まえ、ポイントとなる場所への案内板設置についても検討するとともに、今後はホームページや予約システムの案内図をもっとわかりやすくするなど、利用者の皆様の視点に立った案内表示に努める。	都市建設局 経済観光局	西部土木センター スポーツ振興課
	(2) フッ化物洗口の100パーセント導入について 幼稚園、小中学校において、フッ化物洗口によって虫歯が減ったということがデータで実証されているので、熊本市全域での100パーセントフッ化物洗口を早く実現できるように希望する。 私は、平成29年度の8020推進員教育講座プログラムの終了証をもらったころだ。われわれの孫世代も該当するようになってきているので、微力ながら8020推進員になって、皆が8020以上になれるようお手伝いする覚悟である。 一日も早く全校で実施されるよう、行政の力をおかりしたい。	フッ化物洗口については、小中学生のむし歯予防に有効であることが科学的にも立証されていることから、熊本市内の小学校においても、フッ化物洗口の導入100パーセントを目指して推進している。 今後も関係者のご理解とご協力を得ながら、子どもたちの歯と口の健康づくりに取り組んでいく。	健康福祉局	健康づくり推進課